西山地区

コミュニティ協議会だより

【(西風) 令和５年度１月号】

発行：西山地区コミュニティ協議会

会長　中村史傳

令和６年１月５日発行

薩摩川内市下甑町瀬々野浦 1194

TEL　09969-5-0122

FAX　09969-5-0355

これからの行事（1月の行事）

7日　消防出初式　長浜緑地公園 14：00

9日　事務局会議

11日　瀬々野浦区役員立候補受付

〃　コミ主事連絡会

14日　瀬々野浦区区民総会

21日　西浄寺門徒総会

25日　竜宮文化フェスタ実行委員会

ギンリョウソウ（銀竜草）

新年のあいさつ

西山地区コミュニティ協議会会長

中村史傳

新年あけましておめでとうございます。

昨年はコロナもおさまって四年振りの敬老会、運動会もおこないました。楽しい行事を復活させたのはコミ会員一人一人の底力と思います。

今年は辰年、龍の年です。龍は雨をもたらすなど気象の神ともいわれます。風水害のないおだやかな年であればと念じます。

鹿児島では新年のあいさつに「若こ、ないやっしろ」というそうです。

人間は新年になると、老けてくるのが当たり前なのに逆に若くなっていくことはないのに、その逆のことを言っているのです。

まさに逆転の発想をしたあいさつです。また「ピンチはチャンス」ともいわれます。人口減少と高齢化の進行によって西山コミは大ピンチですが、これを「若こないやっしろ」という発想でとらえればチャンスにかえることができるのではないかと考えました。

お互いに寄る年波に若くなろうという思いで抗っていきましょう

門松つくり

17人で力を合わせる

年の瀬も迫った24日、日曜日、午前8時にコミセン前に集合してクジヤベーシの孟宗竹林に向かった。別のグループは他の材料集め。

集まった材料は松、竹、梅、ユズリハ、千両、葉牡丹。めったに画像で紹介してないので今回は載せました。皆さんありがとうございました。

旧穴川水系陥没

年内復旧なる

12月半ば旧穴川水系の側溝に陥没が見つかった。下甑支所に点検を依頼し、早速駆けつけて頂いた。年内の復旧は無理だろうとのことであったが、一週間もたたない12月21日小雨の中を補修に来て頂き見事復旧しました。関係者の皆様ありがとうございました。

本年２回目の餅つき

年末の恒例行事

本年度２回目の餅つきが12月12日に行われました。高齢化が進む中で他の地域では掲かない草餅やコッパン餅が、島内で大人気です。たしかに春の草取りから始まって、芋の世話、コッパ切り、餅つきと多くの工程を踏んでの製品ですから、西山はよく頑張っているなと頭が下がります。

もう一度２月11日に行われるコミュニティマーケットの分を搗いて本年は完了です。皆さんもう一度がんばりましょう！

最高齢者は西山中学校昭和34年卒業の同級生トリオの皆さんです。

シリーズ 故郷を深く浅く探る

―明治20年代30年代のシンヌーラの子供の冬の遊び―

明治18年（一八八五年）生まれの祖父は、自身の子どもの頃の遊びを次のように記している。『（前文略）秋風の吹く頃となれば紙鳶（凧、たこを揚げるもの。インテゴ勝敗を決した。此の遊びは時々通行人や他の友達に衝突して思いがけぬ怪我をなさしめることがありて場所を選んだ。少し寒くなるとネンウチと称え、手頃の木を地に打ち込み倒れたほうを敗けとした。

また、独楽（こま）を造り音を立てるのをネジゴマと称え喜ぶもので、是（これ）は友達同士にて生木を削り各々（おのおの）造り出した。（後略）』

ネン打ちは相手が地面に打ち込んだ木杭を倒すという遊び。昭和30年代の我々がやった釘打ちとは多少ルールが違うようだ。

ちなみに同様の遊びは全国各地にあり、ネンガラ打ち、ネツキ打ち、ネギ打ちなどと言われたようだ。

コマ造り我々も自分達で造った。へーガラの木等の一方を友人におさえさせ、鎌で鉛筆削りの要領で「ケド」、「ケド」と言って少しずつ回転させて削ってコマの形にした。このコマはシビの木（ガンピ）の皮でムチを造り、このムチで叩いて回した。

今一つ分からないのがインテゴである。鹿児島独特の遊戯である。「ハマ（破魔）投げ」とはちがうようだ。ステックで叩くところは同じだが、ハマは木の輪切りにしたものを、インテゴは平たい石を使うところが違う。祖父の記述では平たい手頃の石を打って遠くへ飛ばしたものが勝つことになる。ホームランの飛距離を競うみたいな遊びである。「イン」は「印地（インジ）打ち」に由来する語である。

印地打ちとは石つぶてを投げることである。石つぶては鉄砲伝来以前の戦闘では重要な武器であった。

昭和37年の十五夜にソウダンズーであった者たちはこの印地打ちの洗礼を受けたのである。「テゴ」は手柄が訛ったものという説もある。鹿児島県には「ハマテゴ」と言ってボンタンやダイダイの実に弓矢を射って競う遊びがあるという。

私はテコ（梃子）から来たテゴではないかと思う。

ヨーロッパの中世まで使われた投石器はてこの原理を利用した。竹籠をいう「手籠(テゴ)からきた言葉ではないだろう。

ともあれ、このインテゴの話を聞いたりこの遊びを記憶している方がおられればお教えください。

（中村史傳）